

めざめ

カウンセリング Q&A

ネット時代の思春期と親の葛藤

栃木県連合教育会相談員

Q 中二になる娘が、オンライン

ゲームで知り合った子と交際していることを最近知りました。その子は、隣県に住む同じ歳の子らしく「受験前に一度会いたいと思っています」と言われ、驚いてしまいました。咄嗟に「危ないから、絶対会っちゃダメ」と怒ってしまつたところ「私のことを分かってくれる優しい人に出会えたんだよ。ママには良かったねって言ってもらえると思っていたから話したのに」と言われてしまいました

た。

その後は相手のことを何も話してくれなくなり、このままでは、私に内緒で会いに行ってしまうのではないかと心配しています。ネットで知り合った人と会ったことで、性犯罪に巻き込まれたというニュースも聞きますので、騙されているのではないかと不安になります。

出会いのきっかけになった携帯電話は、娘が中学生になった時から持たせているものです。

クラスラインで欠席した時に友達から授業のことを聞いたり、宿題で分からないところを教え合ったりするのに必要だからと娘に言われました。周りのお母さんに聞いたところ、子ども同士の間で連絡だけではなく、塾のお迎えや居場所確認のためにも携帯を持たせているというので、夫と相談し、我が家も持たせることを決めました。ですが、こんなことになるなら初めから持たせなければよかったと反省しています。受験に集中するという理由で携帯電話を一時的に取り上げてしまった方が娘を守るのでしょうか。どうしたら良いのか分からず、ご相談させていただきました。



A 娘さんが、オンラインで知

り合った交際相手に会いたと言っている。騙されているのではないかと今、とても不安な気持ちでいっぱいでお辛いですね。娘さんが、ご両親の手の届かないオンラインという世界で人とながり、しかも「恋愛」という形で関係を深めている。それは親として、驚きと戸惑い、そして恐怖を感じるのも当然のことだと思います。

まずは、「携帯電話を娘さんに持たせたお母さんが悪いわけではありません」とお伝えしたいと思います。

現代の子どもたちは、私たちの時代とはまったく違う環境で育っています。スマートフォン等を通じて、学校や地域を越えて人とつながることができる。それは便利である一方で、危険が伴う場合もあります。

ですが、お母さんは、娘さんの学びや友達との関係を支えたい気持ちで携帯電話を持たせた。そ

こには、ちゃんとした理由と愛があったのです。

さて、娘さんの「ネットで知り合った人と恋愛している」という状況についてですが、心理的には「自分を理解してくれる人に出会えた」という感覚がとても強く働いているのではないのでしょうか。

思春期の子どもたちは、親よりも「自分の気持ちをわかってくれる誰か」を求める傾向があります。娘さんが「よかったねって言う

てほしかった」と言った言葉には、お母さんへの共感の願いが込められていたのだと思います。思春期の子どもは、自立と依存の狭間で揺れ動く時期です。自分の

「好き」を親に認めてほしい」という気持ちを強く持っています。

音楽、ゲーム、ファッション、友人、恋愛などは、彼らにとつて

「自分らしさ」そのものを表す大切な一部になります。心理学的には、これは『自己肯定感』と深く関係しています。お茶の水大学の青木紀久代准教授は自己肯定感を

「自分は自分のままで大丈夫」と感じられる感覚と定義しています。この感覚は、無条件の受容や共感によって育まれます。つまり、自分という存在を大切にしたいという心の叫びが好きを認めてほしいという気持ちです。

「危ないからダメ」と怒ってしまったのは、娘さんを守りたいという心からの言葉だったと思います。しかし娘さんは「自分の気持ちを否定された」と感じてしまったのかもしれませんが、まずは「あなたのことが本当に大切だから、心配している。少しでも話をママに聞かせてくれない？」と、優しく声をかけてみてください。

携帯電話を取り上げることについては、慎重になる必要があります。取り上げることでお母さんは、一時的に安心は得られるかもしれませんが、娘さんとの信頼関係が損なわれ、さらに親から隠れてしまう危険性が高くなるのが考えられます。大切なのは、娘さんの意見も聞きながら、納得でき

る形でルールを作ることです。これが、長い目で見て娘さんを守ることにつながります。また、娘さんが相手のことを話してくれなくなったのは、「否定されるかもしれない」という不安からかもしれません。あなたの気持ちは受け止めたよと伝えることで、少しずつ心を開いてくれると思います。

娘さんはまだ成長の途中です。今は不安定で、時に親を拒絶するような言葉を言うかもしれませんが、ですが、心の奥では「ママにわかってほしい」と思っているはず。だから、お母さんに知っていて欲しくて交際している男の子の話を伝えて来たのではないのでしょうか。

どうかその気持ちを信じて、少しずつ、娘さんとの距離を縮められますように。お母さんの優しさと、娘さんを思う気持ちは、きっと届きます。焦らず、ゆっくり、でも確かに歩んでいけるように、応援しています。



こちらの家庭教育通信をお読みいただいたご感想をお聞かせください!



真岡市では家庭教育について情報を発信しています! ご覧いただき、ぜひご活用ください。

感想フォームはログイン不要で送信できます!

まってる
ぴょん♪

